

第5回市民活動ワークショップ 実施報告

開催日時	平成22年5月20日(木) 18:35~21:00
開催場所	武蔵野スイングビル10階 スカイルーム1, 2, 3
参加者構成	市民: 23名(公募) ※申込者38名 アドバイザー: 高山和久(東京ボランティア・市民活動センター統括主任) 事務局: 8名(武蔵野プレイス開設準備室)
次第	開会 1. 「ワークショップ実行準備会」実施報告 2. 市民活動フロアのコンセプトの確認 3. 市民活動フロア検討 その③(設備・備品) ・プレイスの設備に関するFAQ ・グループワーク 4. 事務連絡 閉会
配布資料	資料1 次第 資料2 第6回、第7回ワークショップ 今後の開催予定について 資料3 第4回市民活動ワークショップ 実施報告 資料4 「市民活動フロアを考える市民ワークショップだより」(第2号) 資料5 武蔵野プレイス管理運営指針抜粋(P44~45) 資料6 設備・備品検討のためのFAQ集 資料7 武蔵野プレイス3階市民活動フロアイメージ図 資料8 今後のワークショップスケジュール案 資料9 市民活動フロア検討(その③)「備品」に関するグループワークについて 資料10 武蔵野プレイス市民活動フロア 団体の施設・設備利用に関するアンケート
報告資料	資料11 第5回ワークショップ グループ発表内容(1班~6班)

概要

次第1：「ワークショップ実行準備会」実施報告

〔内 容〕：実行準備会および事務局からの報告

〔資 料〕：資料3

〔概 要〕：第3回実行準備会を実施したことについての報告

日 時：平成22年5月12日（水） 19:00～21:00

場 所：武蔵野公会堂第3会議室

参加者：12名（事務局3名、アドバイザー1名を除く）

内 容：① 「市民ワークショップだより」発行について

② 「団体の施設・設備利用に関するアンケート」実施および、実施期間の延長についての報告

③ 第5回ワークショップの内容の検討について

※「ワークショップ実行準備会」とは、毎回のワークショップの準備作業等を行うことを目的として、ワークショップ参加者中の有志で構成する会。

次第2：市民活動フロアのコンセプトの確認

〔内 容〕：「武蔵野プレイス管理運営指針」の内容確認と意見交換

〔資 料〕：資料5

〔概 要〕：「武蔵野プレイス管理運営指針」の市民活動支援機能に関連した部分を確認し、続いて意見交換を行った。市民活動とは何か、市民活動フロアの対象は団体なのか個人なのか、市民協働サロンと武蔵野プレイス市民活動フロアとの違いは何か等が議論となったが、議論の過程でワークショップ参加者間の認識に幅があることが明らかになった。事務局からは、非営利で公益的な活動をするものが市民活動であり、市民活動フロアでは主に団体を対象とするが、個人も排除しないこと、また、市民協働サロンが市との協働を支援することを目的とするのに対して武蔵野プレイスでは、市民活動を広く支援するという点で両者に違いがあること等の説明があった。

次第3：市民活動フロア検討 その③（設備・備品）

（1）プレイスの設備に関するFAQ

（2）グループワーク

〔内 容〕：事務局からの説明及びグループワーク

〔資 料〕：資料6、7、9

〔概 要〕：

（1）プレイスの設備に関するFAQの説明

武蔵野プレイスの設備や備品に関して、設置が予定されているものや、工事の関係上変更ができない事項、市民活動フロア以外の設備等に関してまとめたFAQ（よくある質問）を事務局から説明した。

(2) グループワーク

- ①検討テーマ：市民活動フロアで行われる活動・取り組みとそのために必要な備品
- ②目的：市民活動団体等の具体的な活動を念頭に置いて、フロアに必要な備品等を考えること。
- ③方法：6つのグループに分かれて作業を行った。各グループでは、模造紙の左半分に「活動・取り組み どんなことがしたいか」を書き、それと対応するように右半分に「そのために必要な備品」を記入した。
- ④発表内容の要旨
各グループの発表者が紹介した内容は下記のとおり。各グループのまとめた模造紙の内容は別紙のとおり。

【グループ1】

- ・ 市民活動フロア（プレイス3階）だけではなく、他のフロアも含めて全体で考えていく必要がある。
例) 料理を作ってご飯を一緒に食べるような活動をしたいので、調理室が欲しい→地下2階の青少年フロアに、調理設備がある。託児スペースに子どもを預けて、市民活動に参加したい→2階に託児コーナーがある。
- ・ お茶を飲みながら打ち合わせ等をしたいので、給湯設備または、ポットやカップの設備。
- ・ 台車。印刷室で作業をする際、印刷物等の運搬に重宝。
- ・ 集音機。高齢者の方が施設を利用される際に、あると良い。
- ・ 障がいのある方や、小さな子どもが使いにくい施設ではない誰でも使えるような、バリアフリー・ユニバーサルデザインを目指した施設に。
- ・ 打ち合わせスペースの机や椅子を市民が皆で作って設置する。
- ・ 打ち合わせスペースにパーテーションを設置し、柔軟な使い方のできる空間になると良い。
- ・ 録音、テレビ、ビデオ、プロジェクター、スクリーン、カメラといった設備。
- ・ 子どもを置いて置ける畳スペース。広げたり畳んだりできるシートが良い。
落書きのボード。子どもたちにとって楽しいのでは。
- ・ ぬいぐるみや皮細工など、何かを作る活動をしたあと、それを展示できるショーケース、ちょっとした販売スペースなど。

【グループ2】

- ・ アナログなものをデジタル化できる機械（例：アナログのVHSをDVDに変換）。
- ・ 印刷機や紙折り機、宛名を早く記入できる機械。
- ・ スキャナーやパソコン。
- ・ パソコンなどの活動をするために、コンセントはたくさん欲しい。
- ・ 2種類の掲示板（情報を発信するためのもの、ボランティアなどの募集をするためのもの）。
- ・ 安心して打ち合わせができるように、女子トイレの中に小さな男の子用の便器が欲しい。
- ・ 図書館の情報。
- ・ お茶の設備。お茶があった方が会議をしやすい。

【グループ3】

- ・ ホワイトボード、マーカー。打ち合わせをするときに必要。
- ・ 大きな時計。打ち合わせをするときなどの時間管理に必要。
- ・ iPhone、パソコン、ケーブルテレビ。世界の情報を入れるため。パソコンはインターネットの利用や、団体情報を保存、紹介に必要。
- ・ 大学間の交流の場を、プレイスに作って欲しい。学生にボランティアを紹介するだけであれば、ボランティアセンターが既にあるので、ボランティア団体のリーダーズセミナーや、ボランティア情報などの講座の開催を企画していただく、あるいは学生が企画をするような仕組みが出来てほしい。
- ・ 拡大鏡。高齢者の方が、カウンターで資料を見やすくするために。
- ・ ゴミ箱。打ち合わせの際にゴミが出てしまうと思うので必要。
- ・ 丸いテーブル。打ち合わせというよりも、気軽に語り合ったりしゃべったりに適したものが良い。
- ・ NPO やボランティア団体に人材を派遣するようなコーナーを、プレイスの一角に作ったらどうか。
(NPO・ボランティア版ハローワーク)

【グループ4】

- ・ 基本的な考え方「若い人からお年寄りまで、個人であっても誰でも参加できるプレイスに」。
- ・ 人と人が仲良くするために、お茶が飲めたらよい→お茶が飲める設備。
- ・ 読み聞かせボランティアの方たちがくつろげるようなスペース。
- ・ 人材登録と活動の場の提供→人生経験豊富な人が、そうしたことを語れるような会が出来るところ。
- ・ 若い人や子どもを惹きつける魅力のある場として→情報を発信できる掲示板の設置、絵画の発表が出来るギャラリー設備、音楽講座が出来るような防音設備のある部屋。
- ・ 地域のスポーツ団体・指導者、コーチのボランティア募集→こうしたことが分かる掲示板。
- ・ 自分の関わる団体や興味のある団体がわかる掲示板、ファイルの設置。
- ・ 相談しやすい気分にさせる机・椅子。
- ・ プライベートな相談にも対応できるようなパーテーション、ホワイトボード。
- ・ 団体活動の備品を置くロッカー。
- ・ 通信手段としての「電話」→電話回線の設置。

【グループ5】

- ・ 冬場、人が集まるところには、コートかけ、傘立てが必要。
- ・ 人が集まるところでは、簡単でいいからお茶が飲める場所が欲しい→電気ポットでインスタント飲料が飲める。
- ・ プリンター、印刷機、カラーコピー機はもちろん、大判プリンター。
- ・ パーテーションはプライバシーに関わる話をする際に必要。また、掲示板として活用することもできるので必要。
- ・ コンセントは床や壁ではなく、天井からぶら下げる方法もあるのではないかな？
- ・ プレイス全館利用の状況が表示できるような掲示板（電光掲示板？）大型モニターは、災害時にも情報を流せる設備として役に立つ。
- ・ 若い世代のために、置き型の畳、ベビーチェア、簡単なおもちゃ、託児ではないけれど子どもを安

心して預けられる場所。

- ・ ぬくもりを感じられるテーブル→ワンポイントでよいので、プラスチックではなく、間伐材などを使った木のテーブルが欲しい。ワークショップ参加者有志で、その机を作ってみては？
- ・ 市民活動全体を俯瞰できるような、市民活動便利帳のようなもの。(紙ベースと、インターネット配信を行うもの)
- ・ 掲示板に国際交流コーナー、武蔵境の地域情報コーナー、他市の情報コーナー、学生コーナーなど。

【グループ6】

- ・ これまでのグループの発表の中で、「モノ」に関することは出尽くしていると思われるので、違った観点から話しをした。
- ・ これまでのグループワークで出てきたものを深める中で、何が必要かを考えたところ次の4つがあげられた。① 集う楽しみ、②人々の交流、③絆、④アナログなもの、手にとって触れることのできるもの。
- ・ プレイスで、市民活動をなぜ支援するのかと考えたところ、人と人とのつながりが、現代社会の中で不足しているのではないかと、そこで、血の通った、アナログな人と人とのつながりを取り戻すために市民活動支援が必要なのではないかと思いついた。
- ・ すぐに沸くポット。自動販売機も良いが、みんなでお茶を入れて飲みながら話をすると、話題も豊富になってよい。
- ・ 人材バンク→あたたかい感じを出すために、壁新聞のようなものを作成して、そこに展開しては？

(4) アドバイザーのコメント

いろいろな意見が出てきたが、その背景には想いや夢がたくさん詰まっているのではないかと思う。今日の成果を踏まえて、次回のワークショップ実行準備会で整理を行う。

次第4：事務連絡

次回日程：平成22年6月17日(木) 18:30～20:30 武蔵野スイングビル 10F スカイルーム

閉会

閉会后～ワークショップ実行準備会 打ち合わせ

参加者：市民10名、事務局3名、アドバイザー

- 内容：① 「市民活動フロアを考える 市民ワークショップだより」第3号の発行について
② 当日のグループワークで作成した、模造紙の原稿起こしについて
③ 今後の日程確認